平成２１年度第２回　千葉市青少年問題協議会　会議録

１　日　時　　平成２２年　２月　５日（金）午後２時～午後３時３０分
２　場　所　　千葉市役所本庁舎　３階　第１会議室
３　出席者　　（委員）
熊谷　俊人 会長、佐々木　久昭 委員、川村　博章 委員、石川　信一 委員、
泉　豊彦 委員、千葉　照雅 委員、田野　薫 委員、永田　利臣 委員、
長島　勝平 委員、佐藤　エミ子 委員、高梨　茂樹 委員、林　まさ子 委員、
藤田　和子 委員、池田　直子 委員、三橋　秋義 委員、新井　貞男 委員、
今井　太志 委員、青柳　洋治 委員、渡辺　和子 委員、石川　正興 委員、
深谷　和子 委員、青木　勉 委員、五十嵐　一博 委員
（事務局）
河野　正行 生涯学習部長、三野宮　純一 青少年課長、
成毛　博光 青少年補導センター所長、小川　彰 南部青少年センター所長、
志賀　みき江 青少年課長補佐、秋葉　光太郎 主査、橋本　高良 主査補、
髙橋　哲也 主任主事、岩野　桂子 主任主事

４　議　題
（１）「青少年の日フェスタ」の報告について
（２）子ども・若者育成支援推進法について
（３）次期千葉市青少年育成行動計画策定に向けた基礎調査報告について

５　議事の経過
（１）座長の選任
（２）報告事項について
座　長
報告事項について事務局の報告を求める。

事務局
ア　「青少年の日フェスタ」について
平成 21 年 9 月 19 日（土）千葉市生涯学習センターで開催。
青少年によるダンス・合唱発表の他 24 事業を行い、参加者数は約 3,800 人。
併せて、青少年健全育成功労者表彰式を開催し、個人 108 人・3 団体を表彰した。
来年度以降についても、引き続き開催していく予定。
イ　子ども・若者育成支援推進法について
平成 21 年 7 月 1 日成立、7 月 8 日公布、平成 22 年 4 月 1 日施行。
背景・趣旨・目的について説明。（資料 3 参照）
併せて、内閣府が本法に基づく地域協議会設置について、19 市町村を対象としてモデル事業を実施する予定であり、21 年度において、同様のモデル事業を実施している。

委　員

本法に基づいて策定された大綱を踏まえ、努力義務という位置づけになっている「都道府県市町村子ども若者計画」について、策定する予定はあるのか。

事務局

法に則り努力義務とされているが、今後青少年行政・子ども行政が一元化された組織が成立してから、検討していきたいと考えている。

座　長

他に意見等が無ければ議事を継続する。

（３）次期千葉市青少年育成行動計画策定に向けた基礎調査報告について

座　長

第１回目の青少年問題協議会協議内容を確認。

現行の行動計画は策定から間もないため、次期行動計画については、現行計画を基に、時代に即した背景や実情に応じた改定に留める。また、次期行動計画策定に向けた基礎調査については、前回との経年比較をすることを目的とする。

初めに、事務局へ報告書の概要について説明を求める。

事務局

報告書の概要について説明（資料４　p.1～7）。

座　長

報告書の概要について、委員へ質問を求める。

委　員

H18 年度調査と比べて、今回の回収率が下がった理由はあるのか。

事務局

回収率が下がった理由については、特に分析していない。

座　長

他に質問・意見を求める。

他に意見等が無ければ議事を進める。

調査結果について、提案を 3 つに分けて協議を進める。まず、基本属性と視点１、２について説明を求める。

事務局

基本属性と視点１、２について説明（資料４　p.11～22）。

座　長
　基本属性と視点１について意見・質問を求める。

各委員
　意見等なし。

座　長
　続けて、視点２について意見・質問を求める。

委　員
　p.22「３　まとめ（3）保護者や地域の期待に応える特色のある学校づくりに努める」について、学校の「基礎学力・体力の向上」と併せて、いくつかあるが、「多様な教育を推し進めていく」とある。行動計画を決めていく時には、千葉市として「特に力を入れていくもの」として具体的に挙げてほしい。（意見）

座　長
　視点３から５までの説明を求める。

事務局
　視点３から５までを説明（資料４　p.23～30）。

座　長
　まず、視点３について意見・質問を求める。

委　員
　p.24「（3）地域での小・中・高校生、青少年の安全性　②悪いことをした子どもへの注意」について、「注意する」という小中学生の保護者の割合が増加しているが、高校生の保護者の割合は微減している。また、まとめにおいて、（4）で不審者等へ遭った経験に対しての対策はあるが、悪いことをした子ども、特に高校生の保護者への注意喚起など、地道なものが社会の中でも欠けているように感じるので、青少年の安全を確保する中で、目を向けてみるべき項目ではないかと思う。見解があれば伺いたい。
　また、以前の調査との比較で高校生の保護者からの回答率が目立って下がっている。特別な理由があったのか。

事務局
　高校生をもつ保護者の教育力の視点という観点から今後文章を検討していきたい。
　また、アンケートの回収率については、これから分析していきたい。現在では原因は明らかになっていない。

座　長
　視点４について意見・質問を求める。

委　員

まとめ「(3) 非行防止活動を推進する」において、「常識がない、しつけができていない親について問題視する声がある」とあるが、地域の者としても入っていきにくい部分であり、「家庭が楽しかったら毎日夜遅くまで遊んでいるか。帰った時に本気でしかってくれる人がいるか。」を考えると、まず、基本が家庭であると思う。　その上で、地域全体で取り組んでいけたらいいと考えるが、「地域全体で子どもを育てる」の前に、「家庭教育の支援をするとともに」の一文追加を検討いただきたい。

事務局

家庭教育の視点から一文を入れることを検討していきたい。

座　長

視点５について意見・質問を求める。

各委員

意見等なし。

座　長

視点６から８について、説明を求める。

事務局

視点６から８について説明（資料４　p.31～36)。

座　長

視点６について意見・質問を求める。

各委員

意見等なし。

座　長

視点７について意見・質問を求める。

委　員

「(1) 国際的なことへの興味」で、「千葉・日本のことをもっと知りたい」について、肯定的な回答の割合が非常に高くなっているが、まとめのほうには施策として「千葉・日本」についての施策の提言で何も取り上げられていない。何か意図があるのか。

事務局

特にその視点から記入はしなかったが、理由はない。

委　員

調査結果や、国際化の理解において、郷土の現状や歴史について青少年が理解した上で海外の方と交流することが欠如していることが見られる。また、保護者側の期待も自分たちのことを深く理解してほしい、と受け取れる。目指す千葉市の青少年像に「千葉市に誇りと愛着をもって行動できる青少年」とあるので、自国・郷土の良さ・歴史等を学ぶことについて入れてほしい。

事務局

そのことについては、意見を取り入れてまとめていきたい。

委　員

「外国に対する興味」とあるが、「外国」についてアジア・欧州など、どの地域に興味があるのかについては細目で調査しているのか。

事務局

地域を指定・特定した調査は行っていない。今後調査を行う機会があったら検討のうえ、取り入れていきたい。

座　長

視点８について意見・質問を求める。

各委員

意見等なし。

座　長

全体を通して、意見・質問を求める。

各委員

意見等なし。

座　長

以上で協議事項すべて終了とする。他に意見等があったら、事務局へ連絡してほしい。

（４）その他

事務局

子ども施策を総合的に推進する「こども未来局（仮称）」の創設予定について連絡。

事務局

委員任期 H22.6.30 まで。次回青少年問題協議会は、H22 年 7 月開催予定であることを連絡。